



福岡市の
魅力を発信

「福岡親善大使」を深掘り!

～親善大使としての活動や想いを聞きました!～

福岡市民の祭り振興会(会長=当所・谷川会頭)は、「2024・2025福岡親善大使」を募集しています。今号では、現大使からのメッセージを交えながら、福岡親善大使の活動や役割についてご紹介します。



2022・2023 福岡親善大使
山口愛華さん

2022・2023 福岡親善大使
神元七海さん

福岡親善大使とは

福岡親善大使は、福岡市民の代表として福岡市のPRを行う親善使節です。任期は2年間で、全国の祭りやイベントをはじめ、物産展に参加するなど幅広く活動しています。その歴史は長く、昭和46年(1971年)の「第10回福岡市民の祭り 博多どんたく港まつり」から始まりました。これまでに123名の大使が選出され、市民目線で福岡市の魅力PRを行ってきました。コロナ禍で各地のイベントが減少した影響により、令和4年(2022年)選出の大使は従来の3名体制から2名体制に変更して活動していましたが、コロナの5類移行に伴い徐々に各地のイベントが復活して派遣回数も増えてきたことから、2年ぶりの募集となる今回は、従来の3名体制に戻してこれまで以上に福岡の魅力発信に取り組んでいきます。



▲「第61回博多どんたく港まつり(2022年)」前夜祭でたすきを継承する2022・2023福岡親善大使

<2022・2023福岡親善大使の主な活動実績>

2年間で、14県の37件の祭りやイベントに出席し、福岡市のPR活動を行いました。参加したイベントの一部をご紹介します。

「第46回火の国まつり」

日時：令和5年8月4日(金)・5日(土)
場所：熊本県熊本市

約60団体、総勢5,000人の踊り手が熊本の代表的な民謡「おもやん」や軽快なリズムの「サンバおもやん」に合わせて街中を踊り歩く「火の国まつり」。福岡親善大使は、ステージや地域紹介ブースで福岡市のPRを行いました。



▲第46回火の国まつりで福岡市の魅力をPRする神元さん

「福岡物産展」

日時：令和5年9月29日(金)
場所：京王百貨店新宿店(東京都)

福岡を代表する名菓やラーメン、博多人形や久留米餅をはじめとした伝統工芸品など、会場には48店(食品35店・工芸13店)が出店。福岡親善大使は、来場者にプレゼントを配布しながら、福岡の食や工芸品について紹介し、福岡市のPRを行いました。



▲福岡物産展で福岡の食と工芸品のPRを行う山口さん

2022・2023 福岡親善大使に聞きました!

Q.応募しようと思ったきっかけ

山口さん

幼い頃にどんたく隊としてパレードに参加した際、堂々と話す大使の姿を見て「こんなカッコいい女性になりたい!」と思ったことがきっかけです。

神元さん

自分の言葉で大好きな福岡の魅力を少しでも多くの人に届けたいという気持ちがあり、どんたくのパレードでの先輩方の姿を見て憧れて応募しました!

Q.一番印象的だった活動

山口さん

博多祇園山笠宣伝隊として、市内だけでなく、島根県や岡山県、鹿児島県でPR活動を行ったことです。博多祇園山笠振興会・博多民謡協会の皆様と共に約40人で活動し、賑やかで楽しかったです!



神元さん

佐賀国際ナショナルパルーンフェスタです。多くの方々から福岡のPRに耳を傾けてくださったり、他県の大使の皆さんと交流できたりして嬉しかったです。



Q.福岡親善大使になって良かったこと

山口さん

各地でたくさんの方と出会い、人として成長できることです。地域の方の笑顔を見た時にやりがいを感じます。

神元さん

様々な場所でたくさんの方々とお会いできることです。他では絶対にできない経験ばかりで、やりがいがあります。

Q.福岡をPRするときに心がけてきたこと

山口さん

自分自身が誰よりも福岡を知り、1番のファンになることで、言葉に自分の想いをのせてPRすることを心がけています。付け焼き刃の知識と原稿をなぞるだけの言葉では誰の心にも響きません。私は、PRスポットに足を運んで学び、「福岡検定」の中級にも一発合格しました。PR先の地域や季節に合わせた内容になるよう工夫をしています。



神元さん

日々の活動の中で、多くの方々のおかげで福岡のPR活動ができていて感じました。そのため、イベントで出会う人ももちろん、イベントの開催に関わる方々への感謝の気持ちを忘れないことを心がけています。

Q.活動の中で感じた福岡の魅力

山口さん

「住みやすさ」「人の良さ」「食のまち」の3つです。市外の方から「空港から都心部が近い」「自然も豊か」と褒めていただくことが多く、活動で様々な都市に出向くたびにコンパクトシティの利便性の良さを実感します。また、県外で行う福岡の物産展では、出展者の方も積極的に話しかけてくださり、「情に厚く、福岡愛の強い」人が多いと感じます。さらに、どの都市に行っても「食べ物が美味しい」と褒めていただき、福岡物産展ではオープン前から行列ができるなど、改めて人気の高さを感じています。

神元さん

博多どんたくのパレードをはじめ、活動中にたくさん声をかけていただき、福岡の方々の温かさに触れる機会が多くありました。また、県外での活動では、「食」について褒めていただくことが多く、改めて福岡の「食」の素晴らしさと魅力に気付かされました。



2024・2025 福岡親善大使を“3名募集”します!

応募資格

- 令和6年3月31日時点で満18歳以上であること。
- 福岡市内在住または福岡市に通勤、通学する方。
※性別及び既婚・未婚は問わない
- 令和6年5月2日の「博多どんたく港まつり前夜祭」から2年間、市民の代表として国内外の行事に参加できる方。(年間40日から60日程度)

募集人数 3名

任期 令和6年5月2日～
令和8年5月1日

選出スケジュール

応募締切 令和6年3月8日(金)

書類審査 令和6年3月下旬

第2次・最終審査 令和6年4月13日(土)

結果発表 令和6年5月2日(木)
(博多どんたく港まつり前夜祭にて発表)

応募方法

どんたくホームページ内の「応募シート」をご入力ください。

詳細はこちら



応募者へのメッセージ

「興味はあるけど勇気が出ない」という方もいると思います。私も福岡を背負う仕事ができるのか不安と葛藤がありました。しかし、貴重な経験から学び、多くの方の温かい言葉と笑顔に出会い、一歩踏み出して良かったと心から思います。「福岡が好き」という気持ちがあれば大丈夫です! 勇気を持って応募してください!

山口愛華さん

応募者へのメッセージ

一番は「福岡のために魅力を伝えたい!」という気持ち大切にしたいと思います。活動は全て貴重なものばかりで、多くの学びがありました。その経験をさせていただけることに感謝しながら、精一杯楽しんで活動に取り組んでほしいです。福岡親善大使になる方々の活躍を心から応援しています!

神元七海さん